

平成24年度事業報告書

(平成24年4月1日 ~ 平成24年10月31日)

公益財団法人DNP文化振興財団

平成24年度事業報告書

(平成24年4月1日から平成24年10月31日まで)

1 アーカイブ関連事業

(1) 田中一光アーカイブ

①本人作品	ポスター	2,869 点
	版画	246 点
	エディトリアル	2,623 点
	原画類	496 点
	その他(パンフ/V.I.等)	2,244 点
②資料	作品複写写真	2,965 点
	その他資料類	4,699 点
③他作家作品	ポスター・版画等	1,110 点
	その他	1,851 点
④蔵書		6,845 点

(2) 福田繁雄ポスターアーカイブ

①本人作品	ポスター	1,540 点
	版画	179 点
	その他(クラフト作品等)	148 点
②資料	書籍等	185 点
③他作家作品	ポスター・版画	697 点

(3) 永井一正作品アーカイブ

①本人作品	ポスター	833 点
	版画	300 点
	エディトリアル	1,105 点
	その他(パンフ等)	1,228 点
②資料	作品ポジ	414 点
	その他資料類	89 点
③他作家作品	ポスター・版画等	139 点
	その他	32 点

(4) ポスターアーカイブ (平成24年10月末現在)

- 1 収蔵作家: 178名 (国内作家 96名 海外作家 82名)
- 2 総点数: 約9,613点
- 3 平成24年度の受入れ状況:

横尾忠則	498点
石岡瑛子	354点

(5) アーカイブ作品寄贈

ノイエ・ザムルング(ドイツ)に対して田中一光・福田繁雄・永井一正の各アーカイブから計1254点のポスター作品を寄贈しました。

(6) アーカイブ作品の貸出

〇21_21 DESIGN SIGHT「田中一光とデザインの前後左右」展へ企画協力しました。
 会期: 平成24年9月21日から平成25年1月20日 / 主催: 三宅一生デザイン文化財団
 特別協力: DNP文化振興財団、大日本印刷
 協賛: 良品計画、西武・そごう、モリサワ ほか
 会場に展示される田中一光作品ほか資料などを田中一光アーカイブより貸し出しました。(ポスター80点、版画26点、書籍111点、その他版下・原画等資料250点強)
 また、代表的な装丁作品を電子書籍化してデジタル端末を使った展示、ポスター作品を高解像度でデジタル化し、大型出力した展示などの新しい試みにも協力しました。



○バウハウス(ドイツ)ポスター展

バウハウス校舎内で開催するポスター展に浅葉克己ポスター作品を貸し出しました。

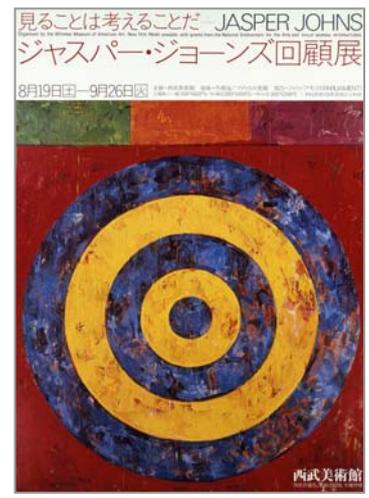


貸出作品例

○埼玉県立近代美術館「日本の70年代 1968-1982」展

会期： 9月15日～11月11日

田中一光ポスター作品 11点、浅葉克己ポスター作品 1点、計 12点を貸し出しました。



貸出作品例

2 展示関連事業

(1) ggg(ギンザ・グラフィックギャラリー)の展示

〒104-0061 中央区銀座 7-7-2 DNP 銀座ビル1階、地下1階

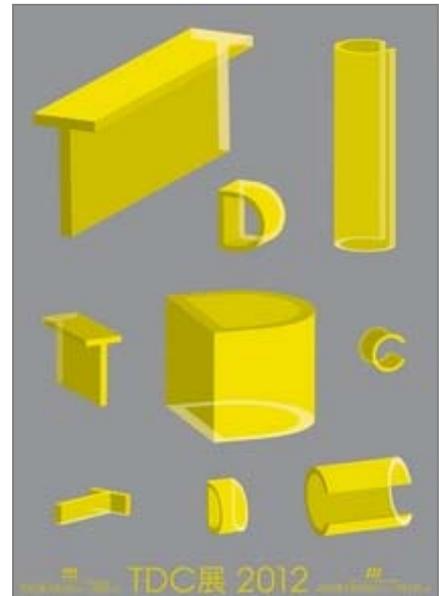
日曜・祝祭日休館 11:00a.m. - 7:00p.m. (土曜日は 6:00p.m.まで) 入場無料

■第308回 TDC展 2012

会期: 平成 24 年 4 月 2 日～4 月 25 日

入場者: 6474 名、一日平均: 308 名

「東京 TDC 賞」の、公募に寄せられた 3289 作品(国内 2265、海外 1024)の中から、厳正な審査の結果選ばれた「東京 TDC 賞 2012」。この受賞作品 10 作品をはじめ、ノミネート作品、優秀作品約 150 点を展覧しました。

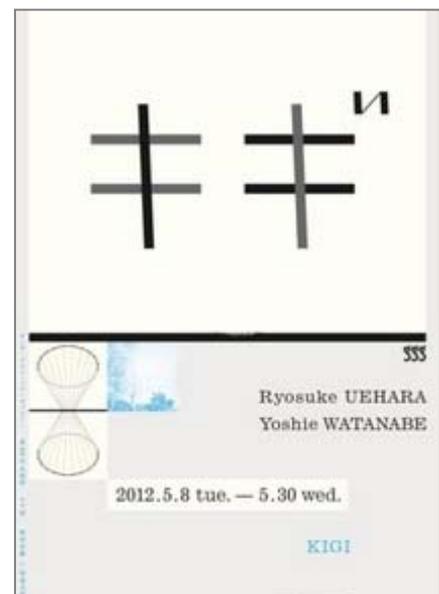


■第309回 キギ展

会期: 平成 24 年 5 月 8 日～5 月 30 日

入場者: 8823 名、一日平均: 441 名

植原亮輔氏と渡邊良重氏の二人展。木というものを一つの象徴にして、幅広いジャンルを横断した、プロダクトディレクションやブランディングなど、グラフィックデザインの新しいあり方を生み出そうとする二人の活動を紹介しました。



■第310回 ジャンピン・へ展

「フラッシュバック」

会期：平成24年6月5日～6月28日

入場者：3231名、一日平均：154名

中国出身、ドイツ在住のグラフィックデザイナー。ベルリン芸術大学で美術を学び、ヨーロッパとアジアをつなぐ架け橋として活躍する新しい世代を代表する作家の企画展として開催しました。



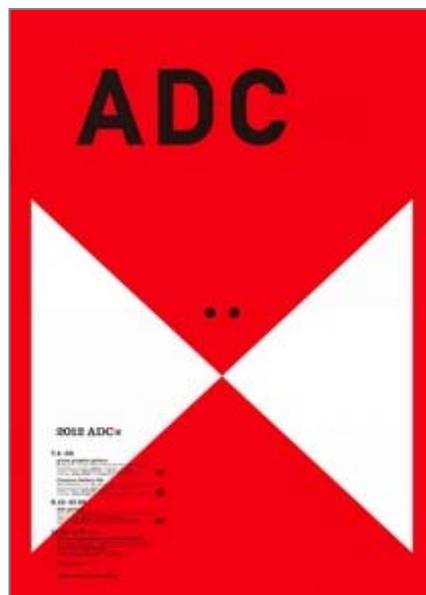
■第311回 2012ADC展

会期：平成24年7月4日～7月28日

入場者：6869名、一日平均：327名

ADC(東京アートディレクターズクラブ)は、1952年の創立以来、日本の広告界を牽引する活動を続けています。

今年のADC賞は、2011年5月から2012年4月までの1年間に発表されたポスター、新聞・雑誌広告、エディトリアル、パッケージ、CI・マーク&ロゴ、ディスプレイ、TVCMなど、多ジャンルのコンペティションです。gggでは、応募約8500点から選ばれた受賞作品、優秀作品を展示しました。



■第312回 世界ポスタートリエンナーレトヤマ受賞作品展

「THE POSTERS 1983-2012 展」

会期：平成24年8月2日～8月28日

入場者：4472名、一日平均：194名

3年に1回富山県で開催されるポスターの国際コンペティション「世界ポスタートリエンナーレトヤマ」が、今年10回目を迎えました。それを記念し富山県立美術館と連携し、歴代の受賞作品を展示しました。



■第 313 回 寄藤文平展

「夏の一研究」

会期：平成 24 年 9 月 3 日～9 月 29 日

入場者：5241 名、一日平均：238 名

寄藤文平氏の広告のアートディレクション、書籍の装丁・デザインを中心に展示しました。黒板とチョークを使ってデザインのコンセプトを表現したアートワークも研究発表のような演出で、観覧者が参加するギミックと合わせて展示しました。

■第 314 回 AGI展

会期：平成 22 年 10 月 4 日～10 月 27 日

入場者：2765 名、一日平均：138 名

AGI(Alliance Graphique Internationale)の日本会員27名の自薦作品と、日本会員からセレクトされた海外会員29名の代表作品を合わせて展示しました。AGI会員の国際色豊かな作品とグローバルな活動をアピールしました。



(2) dddギャラリー(大阪)の展示

〒550-8508 大阪市西区南堀江 1-17-28 なんばSSビル1階

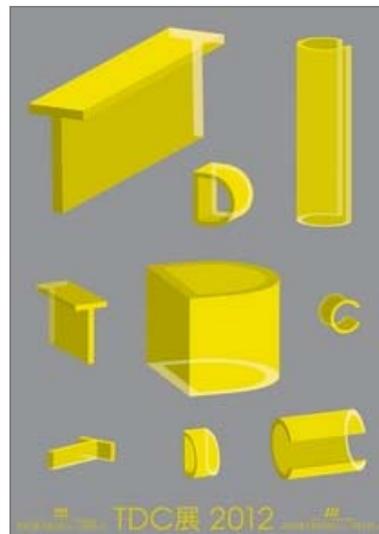
11:00a.m. - 7:00p.m. (土曜日は 6:00p.m.まで) 日曜・月曜・祝祭日休館 入場無料

■第185回 田中一光ポスター 1980-2002 展

会期: 平成24年3月21日~5月11日

入場者: 2897名、一日平均 85名

gggからの巡回展。



■第186回 TDC展 2012

会期: 平成24年5月22日~7月6日

入場者: 2450名、一日平均 72名

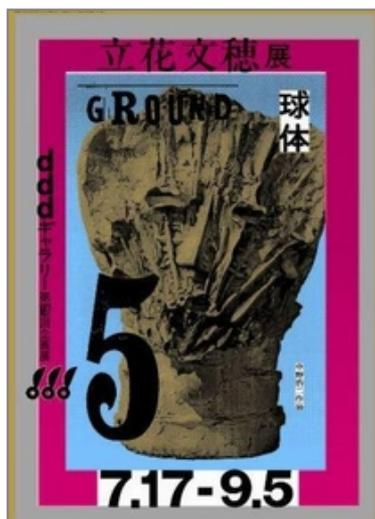
gggからの巡回展。

■第187回 立花文穂展

会期: 平成24年7月19日~9月5日

入場者: 2189名、一日平均: 59名

gggからの巡回展。



■第189回 2012ADC展

会期: 平成24年9月13日~10月26日

入場者: 2454名、一日平均: 79名

gggからの巡回展。

(3) CCGA 現代グラフィックアートセンター(福島)の展示

〒962-0711 福島県須賀川市塩田宮田 1

午前 10:00~午後 5:00(入館は午後 4:45 まで)

一般=300円/学生=200円/小学生以下と65才以上、障害者手帳をお持ちの方は無料となっています。

■第56回 版で発信する作家たち AFTER 3.11 展

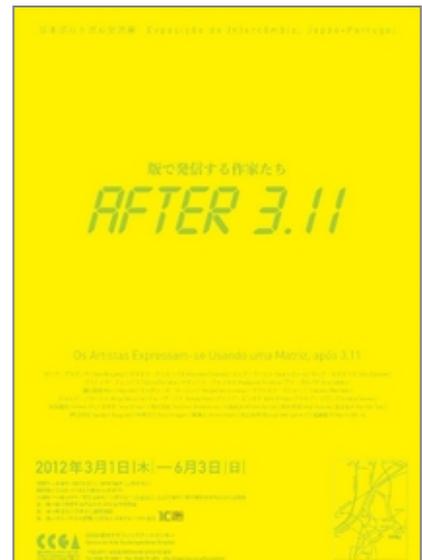
日本ポルトガル交流

会期：平成24年3月1日～6月3日

入場者：1065名 一日平均 13.1名

福島県ゆかりの版画家11名とポルトガルの版画家14名、計25名の作品計85点を展示しました。

震災から1年後の開催となり、周辺地域でのメディア露出も多く、文化活動で復興を目指す活動に注目が集まりました。



■第57回 田中一光ポスター 1980-2002 展

会期：平成24年6月9日～9月9日

入場者：607名 一日平均 7.6名

gggからの巡回展



■第58回 「銅版の表現力」

タイラーグラフィックス・アーカイブコレクション展 Vol.24

会期：平成24年9月15日～12月2日

入場者：248名 一日平均 6.2名（10月31日時点）

収蔵しているタイラーグラフィックス・アーカイブより、銅版画を16作家58点セクションして展示しました。



(3) ggg Books

ggg Books を1タイトルと THE POSTERS を発行いたしました。



『ggg Books -101 ジャンピン・ヘ』: 1,165 円、2000 部

『THE POSTERS 1983-2012 世界ポスタートリエンナーレトヤマ』: 1,165 円、2000 部

ggg Books は電子書籍版も発行しました。

(4) 図録等の発行と頒布

版で発信する作家たち展、キギ展、AGI展の開催に合わせて、図録を作成しました。



4 国際交流関連事業

(1)phono/graph 展のドイツ・ドルトムント巡回

dddで平成23年1月に開催した音とグラフィックをテーマとした企画展をドイツに巡回しました。デュッセルドルフ、ドルトムントの大学と連携し、関連授業を実施しました。

phono/graph 展 in ドルトムント

会期:平成 24 年 9 月 8 日～10 月 12 日



(2)AGI事務局サポートについて

AGIとは、国際グラフィック連盟、アライアンス・グラフィック・インターナショナルの略です。

グラフィックデザイナーが国・文化を越えて興味や友情を分かち合う事を目的に設立され、現在世界 32 カ国、約 350 名の会員で構成されています。

継続的にAGI日本事務局のサポートを行い、ホームページの運営などを行っています。香港で開催された総会に参加し、日本会員と各国の会員とのコミュニケーションを円滑にしています。

○平成 24 年度のトピックス

＝日本会員から推薦した2名(廣村正彰氏、福島治氏)が新たなAGI会員となりました。

5 研究助成関連事業

○会員参加

事業目的にふさわしい以下の団体の会員となっています。

(1)東京イラストレーターズ・ソサイエティ

賛助会員

(2)東京アートディレクターズクラブ

賛助会員

(3)社団法人日本グラフィックデザイナー協会

賛助会員

(4)東京タイプディレクターズクラブ

法人・団体会員

以上